

第2回 国・地方脱炭素実現における
地域脱炭素ロードマップ策定に係るヒアリング



アプリで
STOP温暖化！



静岡県地球温暖化防止活動推進センター
(指定団体アースライフネットワーク 専務理事)

センター次長 服部乃利子

静岡県地球温暖化防止活動推進センターとは

「温暖化対策推進法」38条に基づき、温暖化防止活動を行う地域拠点として設置されたセンター。2004年より特定非営利活動法人アースライフネットワークが県知事より指定を受け、現在17年目。

県内自治体や企業・団体、学校、県民と連携しながら、ユニークかつ実効性のある地球温暖化防止のための様々な取り組みを実施していま



携帯アプリ「クルポ」を活用した温暖化防止のための県民運動

「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」 温室効果ガス削減目標は2021年度に2005年度比で - 21%



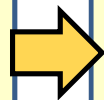
この目標を達成するための方策として
計画に位置づけられた県民運動



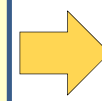
温暖化防止アプリ「クルポ」の仕組み



「クルポ」アプリを
ダウンロード
ポイントスポットへ



脱炭素アクション
(COOLアクション)
をしてQRからポイント取
得



貯めたポイント
で
抽選に参加し
賞品ゲット



る

ポイントを貯める楽しさ、使う楽しさというインセンティブ

「オール静岡体制」の実行委員会！

構成メンバー**63** 運営資金は**25**企業からの協賛金プラス自治体負担金

◆メディア
静岡放送
テレビ静岡
静岡第一テレビ
静岡朝日テレビ

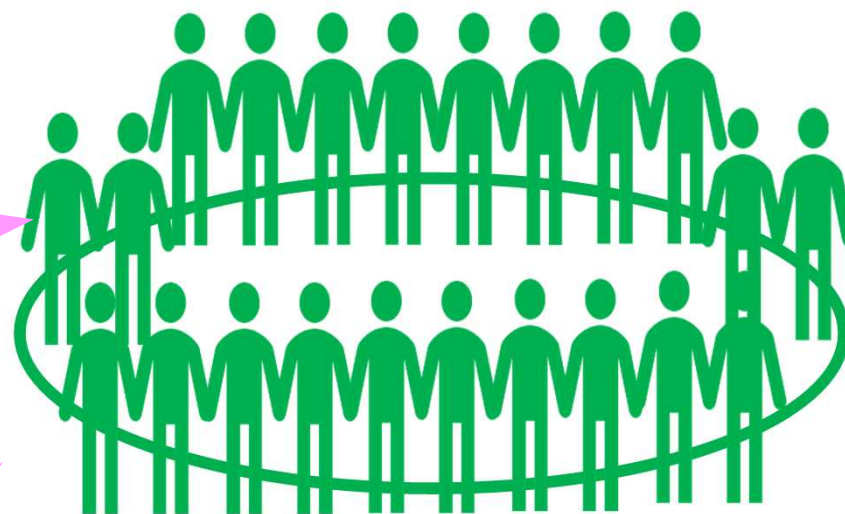
◆自治体
静岡県
全35市町

◆大学生環境サークル
静岡大学・東海大学

◆事業者団体
県バス協会
県LP協会
県経営者協会
県トラック協会
商工会議所連合会
中小企業団体中央会

◆消費者団体
県消費者連盟

◆女性団体
地域女性団体連絡
協議会



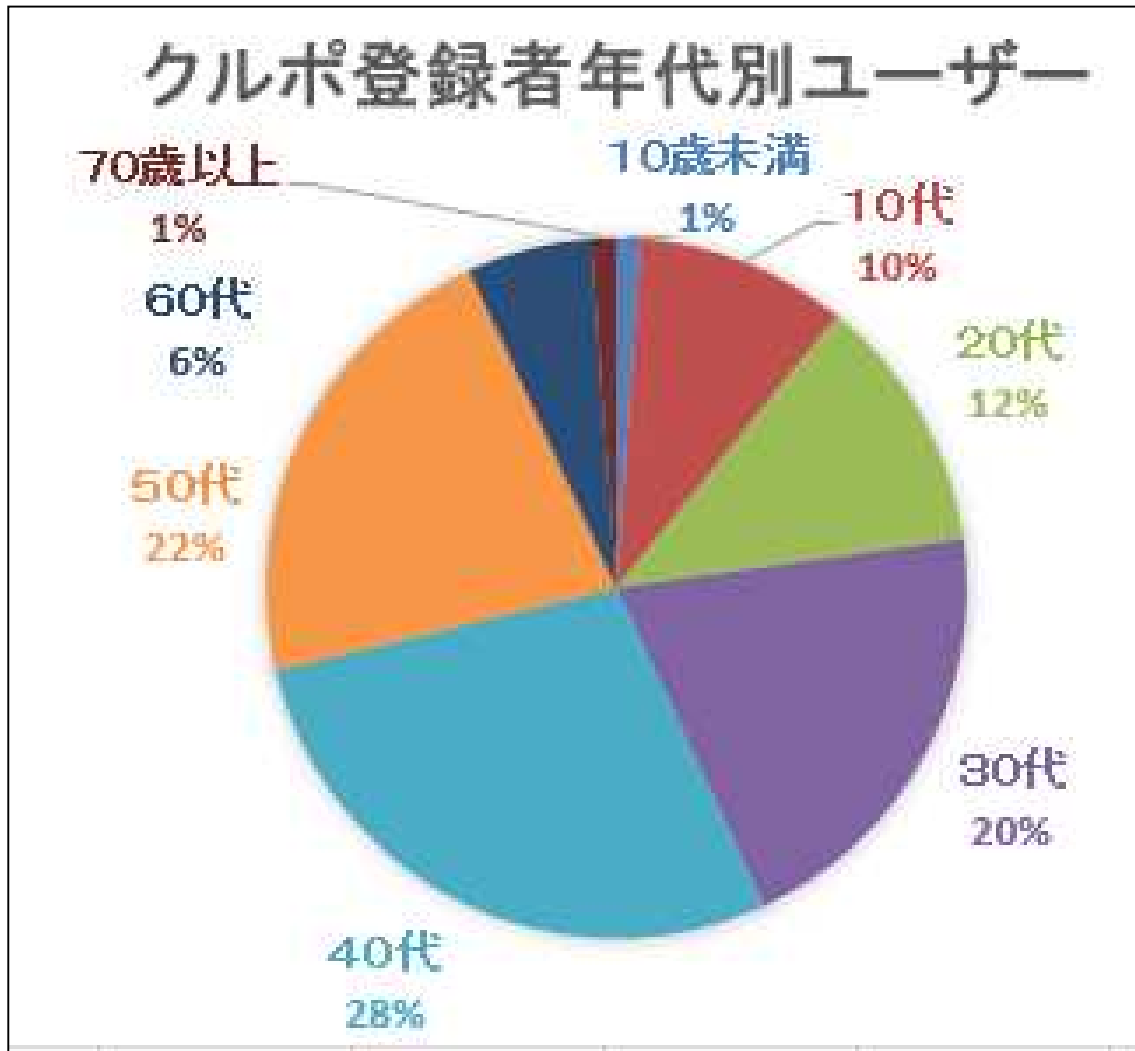
◆事務局（企画・運営）
温暖化防止センター

◆企業(12社)
スズキ・ヤマハ・遠州鉄道
静岡鉄道・静岡ガス・鈴与
サーラエナジー・中部電力
東京電力PG・ヤマハ発動
機三菱電機静岡製作所
COOP



地域推進チームとして、「地域プラットフォーム」を構築して 3
いる

現在までの実績(2021年1月末現在)



◆登録者数：11,370人

◆アクション数：258,470回
(1人あたり20回以上)

◆CO₂削減量：136.7 t -CO₂

10代,20代,30代の登録者は
全体の**4割以上**、

40代を含めると**7割以上**

若い世代が積極的に参加！



★手軽で分かりやすい

(スマホアプリを使用し、若者も気軽に取り組みやすい) 4

クールアクションは 20種類 ポイント獲得スポットは 3,285ヶ所



生活の中のあらゆる場面で参加できる多様なアクションメニュー
(普通の暮らしの中での行動がCO₂削減に繋がる)

脱プラアクション①

レジ袋の削減



セブン-イレブン 店舗レジ前



静岡県庁 売店

生活協同組合ユーコープ、
ヒバリや新鮮市場、
スーパーよどばし、
総合庁舎売店 他

774カ所

脱プラアクション② リサイクルBOXの利用



スーパーマーケット



家電量販店（コジマ）



公共施設回収BOX

マックスバリュ東海
しずてつストア
タカラ・エムシー
杏林堂薬局
イトーヨーカドー
イオン、
ユニーグループ他

330カ所

食品ロスの削減



大学 学生食堂（18大学23キャンパス）



フードバンクふじのくに



社員食堂（ヤマハ株式会社）



飲食店（タリーズコーヒー）

公共施設・企業・大学等の食堂
民間施設のフードコート他

食事の食べきり
643カ所
フードバンクの参加
225カ所

多くの人が環境に配慮した行動・選択をするような社会実現のために
参加者や脱炭素アクション数を増やし、全国に波及させるには、どうすればいい
か？

→市民・消費者の環境配慮行動に地域内で使えるポイントを付与する制度（アプリの活用）は、大変有効。

❖暮らしの中で気軽に取り組める多様な脱炭素アクションメニューの拡大が必要

→環境配慮型商品や再エネ電気の購入、各種シェアリングの利用、食ロスなど
脱炭素アクションに取り組んだ際のインセンティブ（ポイント）が得られる
場面の拡大に繋がる

【各主体による対応の提案】

地域のコーディネーターが主体的に取り組んで自走することが最大の基本

❖自治体：自立運営・継続するための地域推進チーム（プラットフォーム）作りを支援
温暖化対策実行計画のCO₂削減目標達成の手段として明記する

❖企業：脱炭素アクションと事業活動が連動するようなメニューを提供。
消費者による脱炭素アクションが進んだことで得た利益を、ごく一部で
よいの還元

❖国：行動変容によるCO₂削減効果の統一ルール（根拠）やアプリ基盤づくり

•参考資料

クールシェア／ウォームシェア



ボウリング場



映画館（シネシティザート）



静岡ガス ショールーム



市立図書館



静岡駅 駅ビル

公共施設
大型商業施設
スーパーマーケット
県との提携施設 他

664カ所

次世代自動車の利用促進



日産プリンス静岡



しずてつストア



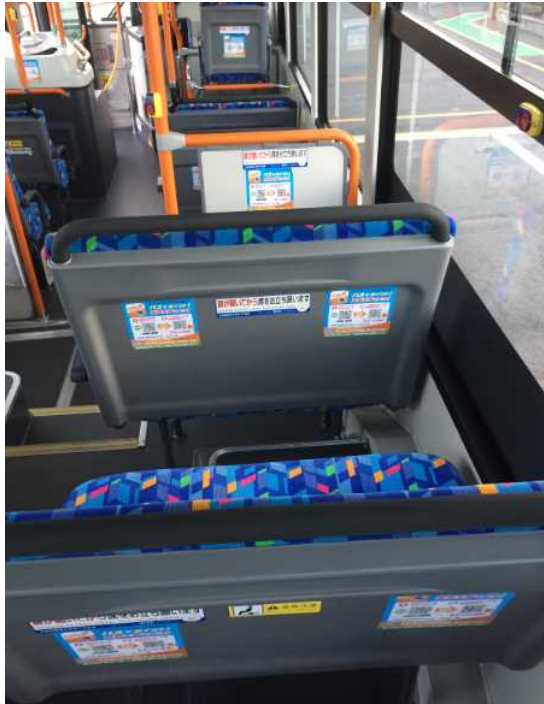
静岡県庁

●購入・試乗・急速充電でポイント付与

県庁・公共施設の充電場所

46カ所

バスや電車など公共交通の利用



掛川バスサービス



富士急静岡バス



岳南電車

遠州鉄道、山梨交通、ジーネット・コーポレーション

12カ所

自転車利用促進



百貨店駐輪場（松坂屋）



静岡市営駐車場



シェアサイクル
(藤枝市・街中シェアサイクル)

公共施設・図書館の駐輪場

103カ所

環境イベントへの参加・企業の環境活動



静岡ガス 打ち水イベント



森づくり県民大作戦



花王×エンチャョー コラボイベント



ヤマハグループ 植林活動

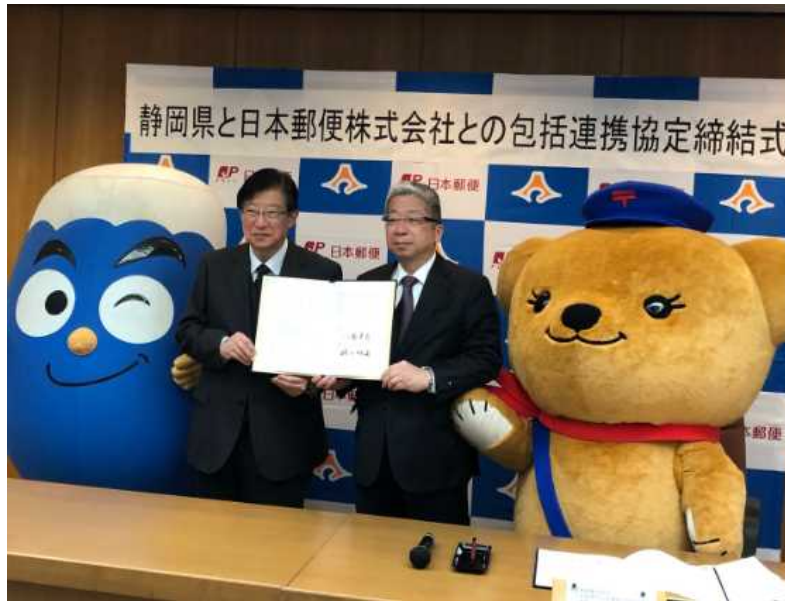


中部電力(株) 清掃活動

企業・市町の清掃活動
森づくりイベント
環境に関する講演会
映画上映会 他

227回

宅配荷物の再配達防止



日本郵便・はこぽす



ヤマト運輸



個人に荷物も職場で受け取ろうキャンペーン

105カ所

省エネ家電の購入



コジマ×ビックカメラ

静岡県電機商業組合加盟店（371店舗）

376カ所



『企業内アクション』・『環境にやさしい設備の設置』・『ノーカーデーの推進』など
3月より新しい脱プラアクションとして『マイボトルの利用促進』をスタートする。

クールアクションの例

クールアクション	内容
	COOL CHOICEに賛同 クルポアプリのトップページから「COOL CHOICE」に賛同してポイントを獲得 (1人1回限り)【10P】
	レジ袋削減 レジ袋を断ってポイントを獲得。 大手コンビニチェーン、スーパーマーケットが参加【3P】
	リサイクルBOXの利用 店舗等のリサイクルBOX利用でポイントを獲得【1P】
	食事の食べきり 食べきり協力店で全部食べきってポイントを獲得。 「ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン」の協力店等が対象【1P】
	フードバンクへの参加 フードバンクの回収BOXへの食品の提供でポイントを獲得。 『フードバンクふじのくに』と連携【1P】
	クール／ウォームシェア 期間中、対象施設の利用でポイントを獲得【3P】 図書館等の公共施設、ショッピングモール、カラオケ店、ボウリング場等の協力店が参加。
	節電・省エネチャレンジ 電気やガスの省エネでポイントを獲得。 電気やガスの検針票の提出で5ポイント、前年の同月から使用量が減っていればさらに5ポイント獲得可能。
	自転車利用促進 自転車の利用でポイントを獲得【1P】 対象の駐輪場に掲示されているQRコードを読み取る

クールアクションの例

クールアクション	内容
 バス・電車 公共交通の利用	公共交通の利用 対象のバスや電車の利用でポイントを獲得【1P】
 次世代自動車 利用促進	次世代自動車の利用促進 環境に優しい次世代自動車の購入【25P】、試乗【3P】、急速充電器【1P】の利用でポイントを獲得
 宅配荷物の 再配達防止	宅配荷物の再配達防止 再配達の防止でポイントを獲得【10P】。郵便局の「はこぽす」、ヤマト運輸の県内中部の営業所、個人の荷物も職場で受取ろうキャンペーン参加企業等が参加
 環境イベント	環境イベントへの参加 対象の環境イベント・講演会・映画上映会・清掃活動などに参加してポイントを獲得【3P】
 省エネ体験	省エネ体験 省エネ体験をしてポイントを獲得。協力する省エネ施設等で見学、体験が対象【3P】
 省エネ家電 購入	省エネ家電の購入 静岡県電機商業組合加盟店での、省エネ統一ラベル三ツ星家電【25P】、LED電球の購入でポイントを獲得【5P】
 うちエコ診断	「うちエコ診断」受診 うちエコ診断を受診してポイントを獲得【25P】
その他	環境配慮型金融商品の利用、環境にやさしい設備の設置、クルポで投票、ノーカーデーの推進 など 協力する金融機関での環境配慮型金融商品の契約、県市町の補助金を利用した省エネ機器の設置、クルポアプリからのエコ関連の投票参加、ノーカーデーへの参加など

大学との連携



**Z世代の学生からクルポのさらなる拡大と周知のための
アイデアをいただいている**





コロナ禍における「Stay Home」に対応した キャンペーン

- ① レジ袋削減キャンペーン
- ② おうちでCOOLアクションキャンペーン
- ③ 「クルポで広げよう！レジ袋チャレンジャー！！」
- ④ 再配達防止のためのアンケート実施
- ⑤ COOL CHOICE CMグランプリ投票
- ⑥ 食品ロス削減キャンペーン「使いきり実践チャレンジ」
- ⑦ クルポ×オンラインエシカルフェスタ キャンペーン
- ⑧ 『プラゴミバイバイ！バイ・シズオカのうまいもんゲット』 キャンペーン
- ⑨ 食べきって当てよう！12月～1月はポイント3倍！キャンペー
- ⑩ クルポを招待してポイントGET！『クル友拡大』 キャンペーン



賞品

賞品は地元スーパーの商品券、レストランのお食事券、QUOカード、図書カード、企業から提供された企業賞など。

商品券等はできるだけ県内企業から調達するが、全県での実施にあたり、どの地域でも使用できるQUOカード等も賞品に加えている。



お買物商品券



お食事券



企業賞



QUOカード



図書カード

当選者数は、2018年6月～2021年1月末時点で約1,289名 22

環境省主催「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」 最優秀賞【普及啓発部門】に選ばれました！



小泉環境大臣



2020年12月9日に東京日経ホールで行われた表彰式

レジ袋有料化をきっかけに環境省が実施してきた「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」キャンペーン。

クルポでも連携してキャンペーンを行いました。

その取組が評価され、普及啓発部門の最優秀賞を受賞しました。